



日造協ニュース

2017.3月
通巻 第516号

発行：一般社団法人日本造園建設業協会 編集：広報活動部会 <http://www.jalc.or.jp>
〒113-0033 東京都文京区本郷3-15-2 本郷二村ビル4階 TEL:03-5684-0011 FAX:03-5684-0012



文部科学大臣賞と国土交通大臣賞をはじめ特別賞受賞者と審査委員で記念撮影

日造協主催 第43回 全国造園デザインコンクール

文部科学大臣賞に山梨県立農林高等学校 国土交通大臣賞 真鍋 幹汰さん(山口県立宇部西高等学校)

日造協は、第43回全国造園デザインコンクールの表彰式を2月4日、東京都千代田区二番町の東京グリーンパレスで開催。賞状の授与、受賞者による作品発表を行った。全国造園デザインコンクールは、造園空間のデザインと設計技術の向上を図ることを目的に日造協主催、(一社) ランドスケープコンサルタント協会、全国高等学校造園教育研究協議会共催、文部科学省、国土交通省、全国農業高等学校長協会、(公社) 日本造園学会、NHKの後援で実施している。

第43回全国造園デザインコンクールは、「住宅庭園部門」に一般1、大学33、高校162、「街区公園部門」に一般2、大学42、高校63、「商業施設部門」に大学4、高校12、「実習作品部門」に大学6、高校17の合わせて、342点の応募があり、入選18点、佳作10点、奨学賞24点が選ばれた。

表彰式では冒頭、主催者より藤巻司郎日造協会長があいさつ。受賞者へのお祝いとともに指導された先生方や関係者への感謝、今後のコンクールの発展と社会への貢献に向けた期待を述べた。

次いで、田畠淳一文部科学省初等中等教育局児童生徒課産業教育振興室教科調査官、望月一彦国土交通省都市局公園緑

地・景観課緑地環境室国際緑地環境対策官が祝辞を述べた。

その後、特別賞の授与、受賞者による作品発表が行われ、最後に審査委員長の藤井英二郎千葉大学園芸学部教授が講評を述べ、記念撮影を行い閉会した。

(2・3面に特集)

また、特別賞を除く受賞者については、これまで賞状を送付することとしていましたが、昨年から可能な限り直接お渡ししようと改善を進め、今年度は10支部で実施し、賞状の授与はもちろん、意見交換などを実施し、インターンシップや就業対策、製図や安全指導など、学校と協会との協力などについても話題に、有意義な機会となった。



長野県須坂園芸・須坂創成高校では、丸山紗英、増田彩夏、小林ひかりさんに長野県支部坂戸氏が表彰状の授与を行った



滋賀県立八日市南高校では田村颯史さんに上田滋賀県支部長が表彰状授与を行った

本号の主な内容

- 2、3面 【特集】第43回 全国造園デザインコンクール
審査講評 藤井英二郎審査委員長ほか
入選作品 国土交通大臣賞 真鍋 幹汰さんほか
- 4面 【ふるさと自慢】神奈川県 宮越 亨(神奈川県支部事務局)
豊富な観光スポットとおいしい食べ物 3月から6月“横浜フェア”も開催
【緑滴】和歌山県支部 畑中雅厘子(株)井内屋種苗園
凝り性な性格を活かして

樹林

(一社)日本造園建設業協会理事
(株)富士植木 代表取締役 成家 岳



より多くの会員参加で日造協活動を！

随分と昔のことになりますが、入社して間もない頃、前社長とともに総会に行く機会があり、随分と顔が広いなあ~と思うと同時に、商売上のライバルなのに仲が良さそうなことを、当時は不思議に思いました。



それから随分と時間が経ち、日造協がどんな協会かは、総会資料に書かれているくらいは理解していましたが、自分が東京都支部の幹事として実際に参加してみて、はじめて協会活動がどのようなものなのかが分かりました。

特に、技術委員会のメンバーとして、街路樹剪定士の試験準備や当日の立会いなどを通じて、活動の意義を実感することができました。

また、その数年後に本部の委員会に参加することになりました。「本部の活動も見ておいた方がいい」との計らいだったものの私としては気が重く、「末席で聞いているだけでいい、皆がどんな発言をし、何をしているかを良くみるよう」とのことでの自ら進んでではなくたものの、実際に参加することで、日造協の活動がそれまでより深く理解できました。

広報活動部会は、特に協会活動全体を取り扱うことから、全体像の理解にもつながり、本部職員の方と知り合えたことで、いろいろな情報交換もでき、協会活動の充実にも役立てることができました。

さらに、日造協にも青年部のようなものをとの話しがあり、地域リーダーズ制度が発足し、初期メンバーとして参加することになりました。ここでは、全国の元気ある同世代の方と知り合うことができ、地域リーダーズの活動を

通じて、それぞれの地域での取り組みを知り、日造協が全国組織であることを改めて体感する機会にもなりました。

また、地域リーダーは同世代ということもあり、お酒を酌み交わしながら、それぞれの悩みや考えていることなどの意見交換もできました。

◆
そして、今年度から理事となり、緊張して初めて総支部長等会議に参加すると、地域リーダーズと一緒に活動したメンバーが、支部長で出席していました。お互い別の肩書きながら同席していました。地域リーダーズの活動当初は漠然としていた次世代の日造協を牽引していく役割を再確認することとなりました。

現在、会員拡大プロジェクト推進部会で取り組んでいるように、会員拡大は単に会員を増やすことではありません。日造協が何かをしてくれると思っている人もいるようですが、決してそういうことではなく、会員の皆さんのが日造協の支部、本部、或いは地域リーダーズ活動などに参加してはじめて、日造協の意義や活動が理解でき、日造協の主体となっていくのだと思っています。

◆
私たちには、時に商売上のライバルともいえますが、その舞台はより適切なルール、より大きなステージであって欲しいと思っています。個々の会員企業がこれまで以上に日造協の活動に参加し、日造協を通じて、業界の発展に努めることで、さらに社会に役立ち、皆が生き生きと働く環境を作りたいと思っています。

包括協定で人材育成など図る 日造協と全国高等学校造園教育研究協議会が締結

日造協と全国高等学校造園教育研究協議会は、全国造園デザインコンクールなど、これまでの長い連携・協力をさらに有意義なものにしようと、3月3日に東京都文京区本郷の日造協会議室で、「高等学校における造園教育や人材育成を行うための包括協定」調印式を行った。

協定は、「全国造園デザインコンクール」等の連携・協力はじめ高校で行う造園教育を円滑に進めるための連携など協力事項が特徴。協会本部だけなく、支部と協議会高校の対



中島勝人全国高等学校造園教育研究協議会会長と藤巻司郎日造協会長により行われた調印式のようす
応が可能になり、実態に即した対応が期待される。

日造協団体保険制度のご案内

もしものときに!
お役立てください。

日造協では、団体保険制度を実施しています。

- ①政府労災上乗せ補償制度
- ②第三者賠償責任補償制度
- ③工事対処物補償制度

保険期間 8月1日から1年間で、保険期間の途中からでも、随時中途加入を受付しています。(毎月15日締切、翌月1日より補償開始)

お問合せは、
損害保険ジャパン日本興亜(株)
営業開発部第一課

TEL03-3349-3322まで

法定福利費の内訳を明示した標準見積書の活用により、法定福利費の確保を図りましょう!

第43回全国造園デザインコンクール 審査講評 入選作品

■藤井 英二郎委員長
(千葉大学園芸学部名誉教授)

今回の応募数は342件で、昨年(439件)より百件近く減りました。応募頂いた高校や大学の数は増加傾向にありますので、次回はより多くの応募を期待しております。

応募数が最も多い高校生の住宅庭園部門は昨年・今年と少し物足りなかったのですが、今年は普通高校の生徒さんから従来になかった新しい試みが提案されました。人口減少時代に入り、空き家対策も課題になってきていますので、経営の観点も取り込んだ夢のある住宅庭園も提案して下さい。

一方、高校生の街区公園設計は質が向上しましたし、さらに実習では優れた作品が多くなりました。実習では設計内容をそのまま施工するのではなく、施工過程でもより良い空間にする拘りが求められます。

大学生では従来、街区公園で優れた設

計が多かったのですが、今回は見劣りしました。高校生に比べて経験も多く、分析力や情報を総合して具体化する力も高いはずですので、次回は地域の魅力を増すような街区公園の設計を期待しています。

■田畠 淳一委員(文部科学省初等中等教育局児童生徒課産業教育振興室教科調査官)

第43回全国造園デザインコンクールが平成28年度も関係各位の御尽力で成功裏に開催できたことにこの場を借りて感謝申し上げます。

応募された作品には、生徒の皆さんの日頃の学習の成果と作品を仕上げるひたむきに努力する姿を随所に感じたいへんうれしく思いました。これまでの皆さんの努力と御指導いただいた先生方に改めて敬意を表します。

昨今、学校教育では、学習の中で「思考力・判断力・表現力の育成」を念頭にした教育活動の重要性が問われていますが、実学を通して学ぶ農業学習の本質がこの造園デザインコンクールに凝縮されていると言っても過言ではないと私は考えます。

作品制作には、農業学習だけでなく日頃から常に感性を高めるトレーニングや基礎的・基本的な技術習得が必要で、地道な取り組みが不可欠であります。そして、その知識や技術を活かし、図面を仕上げていくことになります。この一連の流れが生徒の皆さんの「思考力・判断力・表現力を育成」につながっているわけです。その集大成が実習作品ともいえます。

地域のイベントや文化祭等で作成する機会や課題研究等による卒業制作等をうまく活用することで挑戦できる内容であり、学習成果を外部で評価いただく機会として捉えれば、教育的視点で応募へ向けた学習計画を整理することも必要ではないかと思います。

今年度の応募数は、昨年度よりも減少したもの、新しい学校からの応募があ



国土交通大臣賞
真鍋 幹汰 山口県立宇部西高等学校

り、裾野が少し広がっていることを感じました。審査は、作品の完成度が高く上位は特に甲乙つけがたく長時間になりました。

今年度の文部科学大臣賞は、僅差でしたが各作品の評価が高く、各部門で丁寧な指導をされていた山梨県立農林高等学校を選出しました。

この3年間、各校の指導力も向上し、指導者も世代交代に入ってきたことから、毎年、文部科学大臣賞の受賞校が代わっています。次年度へ向け他校の指導力向上に期待しています。当コンクールの更なる充実・発展を祈念し講評とします。

■古澤 達也委員(国土交通省都市局公園緑地・景観課緑地環境室長)

第43回全国造園デザインコンクールに入選等された皆様、誠におめでとうございます。国土交通大臣賞は、実習作品部門から山口県立宇部西高等学校の真鍋幹汰さんの実習作品「TRY～新たな挑戦」が受賞されました。実習作品部門からの受賞は初めてとなります。

この作品は、文化祭に訪れる来校者の方々に対するおもてなし空間として設計・施工されたもので、本格的な庭園工事のプロセスと質の高い出来栄えが評価されました。

施工時に留意した点が写真とともにわ

かりやすく整理されていたほか、既存木を庭園の背景に巧みに取り入れて奥行きを表現している点や、現地の状況に応じて設計図面の飛石の配置を修正しつつ敷設を行っている点など、設計コンセプトを現場の応用力で解決していく取り組みも評価されました。

指導に当られた先生方に心より敬意を表しますとともに、次世代を担う高校生の皆様の今後の活躍をご期待申し上げます。

■篠沢 健太委員

(公社)日本造園学会理事)

本案は、住宅の広い屋根に雨水集水の可能性を見出し、庭に複雑な高低差を生み出しつつ水の流れや動線を無理なく繋いで、各所に多様な水の景を生み出しています。

また水は途中、壁の向こうの駐車場へ流れ出し、駐車場もまちのコミュニティスペースとするなど、工夫されています。

雨水利用の技術・発想は新しくはないですが、特殊例からの一般化、「普遍の技術」への展開にはまだ課題が残る分野です。「雨を待つ」日常生活と「雨街」の広がりを見据えた本案は我が国のグリーン・インフラの展開への大きな可能性を感じられ、日本造園学会会長賞に相応しいと判断しました。

賞	部門	氏名	学校名	学年
文部科学大臣賞	実習	真鍋 幹汰	山口県立宇部西高等学校	3
造園学会長賞	住宅	小牧 祐介	E & G アカデミー	1
日造協会長賞	住宅	望月 福太郎	山梨県立農林高等学校	3
CLA会長賞	住宅	畠山 菜乃	国学院大学久我山高等学校	2
学校長理事長賞	街区	清水 葉央	山梨県立農林高等学校	3
造園監修会長賞	住宅	平野 庄太郎	滋賀県立湖南農業高等学校	3
入選	住宅	松浦 麻子	E & G アカデミー	1
入選	実習	片岡 愛子	E & G アカデミー	1
入選	実習	江上 亜耶花	西日本短期大学	2
入選	住宅	丸山 紗英	長野県須坂園芸・須坂創成高等学校	3
入選	住宅	佐山 花摘	滋賀県立湖南農業高等学校	3
入選	住宅	蛭田 汐香	奈良県立磯城野高等学校	3
入選	住宅	上総 泰布	広島県立西条農業高等学校	3
入選	街区	石橋 陸人	山梨県立農林高等学校	2
入選	街区	増田 彩夏	長野県須坂園芸・須坂創成高等学校	3
入選	商業	小林 ひかり	長野県須坂園芸・須坂創成高等学校	3
入選	実習	山口 寛人	京都府立農芸高等学校	3
入選	実習	平野 庄太郎	滋賀県立湖南農業高等学校	3
佳作	住宅	曾我尾 萌	E & G アカデミー	1
佳作	住宅	宮田 恵理子	E & G アカデミー	1
佳作	商業	品田 涼佑	日本ガーデンデザイン専門学校	2
佳作	実習	石原 洸太	専門学校 職藝学院	2
佳作	住宅	田村 順史	滋賀県立八日市南高等学校	3
佳作	街区	小野田 真美	愛知県立猿投農林高等学校	3
佳作	商業	栗田 結衣	静岡県立静岡農業高等学校	3
佳作	商業	丹羽 美月樹	愛知県立猿投農林高等学校	3
佳作	実習	浅沼 悠太	岩手県立花巻農業高等学校	3
佳作	実習	藤井 幹太	広島県立西条農業高等学校	3



入選 松浦 麻子 E & G アカデミー



入選 片岡 愛子 E & G アカデミー



入選 江上 亜耶花 西日本短期大学



入選 丸山 紗英 長野県須坂園芸・須坂創成高等学校



入選 佐山 花摘 滋賀県立湖南農業高等学校



入選 蛭田 汐香 奈良県立磯城野高等学校



(公社) 日本造園学会会長賞
小牧 祐介 E & G アカデミー



(一社) 日本造園建設業協会会長賞
望月 福太郎 山梨県立農林高等学校



(一社) ランドスケープコンサルタンツ協会会長賞
畠山 菜乃 国学院大学久我山高等学校

■渡邊 清美委員（全国高等学校造園教育研究協議会理事長）

今回多くの作品を応募いただき誠にありがとうございました。

高校生の応募が減少し、特に商業施設の応募が少ないのは残念ですが、一つ一つの作品を見ると周囲の環境や各空間との繋がりが考慮した作品が見られ、丁寧に課題に取り組んだ姿が伺えました。

全国農業高等学校長協会理事長賞に山梨県立農林高校の清水菜央さん、全国高等学校造園教育研究協議会会長賞に滋賀県立湖南農業高校の平野庄太郎君が授賞されました。ともに高校生らしく、家族や地域との絆をテーマに周囲の環境が考慮されるなど細部まで工夫され、普段の学習の姿勢が伺える作品でした。

次回も多数の素晴らしい作品の応募を期待しております。

■伊藤 文喜委員（全国高等学校造園教育研究協議会副理事長）

今年も数多くの応募をいただき、ありがとうございました。住宅庭園、街区公園の高校生の作品において、とても素晴らしいコンセプトと、時間をかけた丁寧な図面に日々の努力の成果を見る事ができました。

対して、大学生の図面では総合的に見劣りするものが多く、高度な研究から得られた知識を盛り込んだ作品を期待したいと思います。商業施設では全体に少ない応募数でした。

身近な生活空間の一部として関心を持っていただき、課題が示す趣旨をよく考えた上で積極的に取り組んでいただきたいと思います。

■萩野 一彦委員 ((一社) ランドスケープコンサルタンツ協会理事・技術委員会委員長)

(一社) ランドスケープコンサルタンツ協会会長賞は、全作品の中で、着想・デザイン等の最も優れた作品として、国学院大学久我山高等学校の畠山菜乃さんの「働いてくれる庭」が受賞されました。

この作品は、庭のデザインというよりもむしろ、街のランドスケープデザインというべき作品です。

街に潤いを与えていた良好な庭がある日暮風景な貸し駐車場に変わってしまったという、身近に起こった都市部の戸建住宅地にありがちな課題を捉え、日本の社会が抱える問題の解決に向けて、このデザインコンクールの課題を利用して見事に提案しています。駐車場の収入で管理費も賄おうという経営の視点も特徴的です。

普通科の高校で指導を受ける先生もない中、センスの良いエスキースや植栽

も独学で知識習得していることを含め、その感性と姿勢に感心させられました。我々審査員もこの課題のあり方について考えさせられる、新しい着想の素晴らしい作品でした。

■卯之原 昇委員 ((一社) 日本造園建設業協会業務執行理事・技術委員長)

今年度は、高校生の部で新規応募校が12校増え、作品総数342点という多くの応募をいただきました。日造協会長賞は、全作品の中から設計・施工・利用について最も優れた作品として、住宅庭園部門の望月福太郎さん（山梨県立農林高等学校）の「五感を刺激されることで生活に潤いがもたらされる庭」が受賞されました。

作品は、庭で家族団欒ができる、ウッドデッキから庭に降りると、花木・水・鳥などが身近にあり、季節の移り変わりを五感で感じることができる作品でした。

毎年、沢山の作品を出展していただ

き、応募者や指導者の皆様に感謝すると共に、多くの皆様が造園業界に入職され活躍されることを期待しております。

■正本 大委員 ((一社) 日本造園建設業協会業務執行理事・事業委員長)

これまでコンクールに主催運営側として参加していましたが、このたびは審査側も兼務させて頂きました。300を超える力作の中から選考していくのは非常に集中力を要しました。一つ一つの作品には相当な時間と知恵、労力を要するものです。応募くださった皆様に感謝と敬意を表します。

本コンクールが回を重ねるごとに充実し、双方にとって前向きなものになっていくには、未来へのステップに対してのインセンティブ付与の検討なども必要です。受賞をきっかけにまたチャレンジしてもらえるコンクールで有りたいと思います。この場を通じて関係各位の多大なるご協力に感謝申し上げます。



入選 上総 泰布 広島県立西条農業高等学校



入選 石橋 陸人 山梨県立農林高等学校



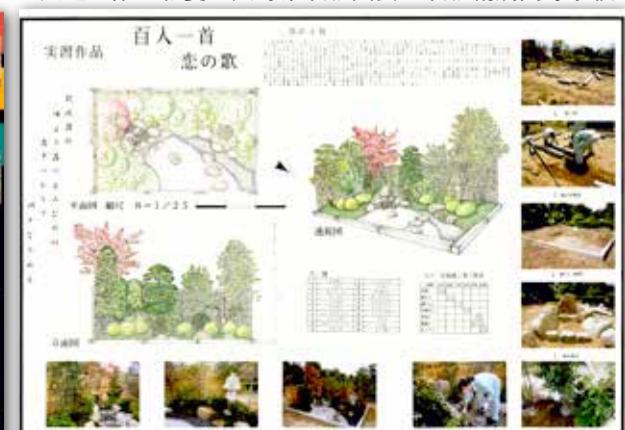
入選 増田 彩夏 長野県須坂園芸・須坂創成高等学校



入選 小林 ひかり 長野県須坂園芸・須坂創成高等学校



入選 山口 魁人 京都府立農芸高等学校



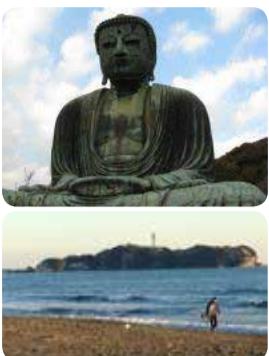
入選 平野 庄太郎 滋賀県立湖南農業高等学校

ふる
と
慢
神奈川県

豊富な観光スポットとおいしい食べ物
3月から6月 横浜フェアも開催



みなとみらい夜景



鎌倉の大仏①と江ノ島⑤



小田原城



シロコロホルモン④と崎陽軒のシュウマイとお弁当⑥



泉、第3回（2008年）B級グルメで優勝したシロコロホルモンなどもあり、神奈川県には各地域にまだ紹介したい、たくさんの様々な観光スポット・食べ物などがあります。

平成29年3月25日(土)から6月4日(日)

旅先で「どこから来たの？」と聞かれます。

神奈川と言わず「横浜」と答えてしまいます。

なぜなら横浜の方が、「みなとみらい」、「赤レンガ倉庫」、「中華街」、「山下公園」、「元町」そして崎陽軒のシュウマイなどや、古くなりますが「よこはまたそれが」、「ブルーライトヨコハマ」や「港のヨーコ・ヨコハマ・ヨコスカ」など横浜の地名の歌など、神奈川県と言うより横浜の方が知名度が高く観光スポットが集中し全国でも有名だからです。

しかし、神奈川県には横浜以外にも、素晴らしい観光スポットやおいしい食べ物がたくさんあります。

事務局の動き

【2月】

- 1(木)・関東・申信組合と関東地方整備局との意見交換会
 - ・総務委員会・財政運営部会 合同会議
- 2(木)・運営会議
- 3(金)・事業企画部会
 - ・事業委員会
- 4(土)・第43回全国造園デザインコンクール表彰式
 - ・全国造園デザインコンクール推進部会
- 6(月)・街路樹剪定士指導員研修会 講師打ち合わせ
- 7(火)・広報活動部会
- 9(木)・安全部会
- 10(金)・担い手育成・確保推進部会
- 14(火)・調査・開発部会
- 16(木)・登録造園基幹技能者講習委員会
- 21(火)・技術企画部会
- 23(木)・戦略企画部会
 - ・造園領域発展戦略委員会
- 24(金)・女性活躍推進部会

【3月】

- 3(金)・全国高等学校造園教育研究協議会との包括協定調印式
- 6(月)・街路樹剪定士指導員研修会・指導員スキルアップ

研修会～3/7

- 7(火)・広報活動部会
- 9(木)・街路樹剪定士指導員研修会 講師打ち合わせ
 - ・技術・技能部会
- 10(金)・技能検定関係団体会議
- 14(火)・街路樹剪定士認定委員会（試験部会）
- 16(木)・植栽基盤診断士認定委員会（試験部会）
- 21(火)・造園技術フォーラム部会
- 23(木)・街路樹剪定士認定委員会
- 25(土)・全国都市緑化よこはまフェア開会式～6/4
- 29(木)・運営会議
- 30(木)・総支部長等会議
 - ・第2回通常理事会
 - ・役員懇談会

委員会等の活動

- 総務委員会・財政運営部会 合同会議部会
 - 平成29年度事業計画案・収支予算案、予算フレーム案等について審議した。（2/1）

お知らせ

- 平成28年度の実態調査を3/15～25に予定しています。会員の皆様にメールと紙ベースのご案内をお送りしますので、メールでの回答をお願いします。



結婚し、子どもを授かり、妻と母親業に追われる日々の中、“私の時間”を上手く見つけられずにいた毎日に変化が訪れたのは、愛娘の1歳の誕生日でした。

部屋をデコレーションし、お祝いしたことを見つけていた毎日に、私の中に眠っていた凝り性な性格が顔を出しました。

年々こだわりが増し、いつしかフォトスタジオのような写真が撮りたいと思い始めた矢先、SNSで知ったのがペーパーフラワーでした。

材料が画用紙とあって安価で揃い、すぐに始められる手軽さと、華やかさに魅了され、ひとつ、ふたつと作れば作るほど、凝り性な性格と合って、子どもを寝かしつけた後に見つけた“私の時間”。

自己満足な装飾も、娘達の成長とともに、家族の楽しみへと変化しました。

さらに、友人達と開いたXmasパーティーでは、私の装飾を気に入ってくれた仲間達に頼

和歌山県
（株）井畠内屋種苗園
畠内屋種苗園



に「第33回 全国都市緑化よこはまフェア」がみなとみらい地区などで開催されます。ぜひ、このよこはまフェアを観に来て頂き、神奈川県の各地域の観光スポットなどを周遊し楽しんでいただければ幸いです。

宮越 亨（神奈川県支部事務局）



まれ、フォトブースを設置し、幼い子ども達にも喜んでもらい、益々創作意欲に火が付き、時間を見付けては夜な夜な製作に時間を費やし、寝不足な日々。

友人の子どものボーンフォト、誕生日の写真を撮って欲しいとの嬉しい声に加え、とある住宅メーカーの方の目に留まり、新築のモデルハウスにて、人生初のワークショップ講師として、ペーパーフラワーを来場されたお客様に教えることになりました。

人が趣味で始めた1つの楽しみが、様々な人との繋がりを通して、多くの人に広がりゆくことを期待し、新たな“私の時間”に挑戦したいと思います。

編集後記 年度末あわただしいなかスギ花粉に悩まされながらの編集会議でしたが、今月号紙面が皆様のお手元に届けられる頃には、そろそろうれしい桜の開花宣言も聞こえてくるのでしょうか。

生徒さんが“造園設計 CAD”を使っています

導入台数 550 台突破

簡単操作で授業がスムーズ

全国充実サポート



Cambridge

学校教育の定番 CAD ケンブリッジ



07 オーセブン株式会社

Tel. 338-0004 埼玉県さいたま市中央区本町西6-4-14
Tel. 048-840-1577 Fax. 048-840-1579

ZENOAH[®]
人と共に 緑と共に

ゼノアのエコ3新商品！

クラスを超えた処理能力！
チップーシュレッダ

商品をYouTubeで
チェック！ SR3100

竹もOK!

200mm

200mm